

世界の人々に広島への平和への願いを！

私は日本が好きで長い間住んでいる、イギリス人のスーです。

私は、日本が世界で唯一の被爆国であり、

その後、戦争行為に関わっていないという点で、特別な国だと認識しています。

これは世界から見ても、輝かしい模範であると思います。

ある日私は「原爆が投下された日から今日に至るまで、

70年間燃え続けて来た広島の『平和の火』がある」と聞きました。

このとき私は、「これは広島への平和への願いのシンボルだ。

闇に光をもたらし、過去の傷や忌まわしい記憶を洗い流すものだ」と思いました。

人類の抱えている傷や憎しみや罪悪感是非常に根深いものです。

これは世代から世代に受け継がれており、今もなお、争いの口実に使われています。

その一方、私たちには世界の明るい未来を祈る心があります。

私は祈りが、傷や憎しみや罪悪感を癒やす力を持っていることを信じています。

だから私は思ったのです。この「平和の火」を、

「広島から東京までの860km、念仏し祈りながら自転車で走って運ぼう」と。

私が東京まで運んだ「平和の火」は、

さらに飛行機でヨーロッパ各地を経て、終着駅のエルサレムまで行きます。

日本を含め、世界各地で行われるアースキャラバンの各会場では、

この火が、平和の象徴として灯されることとなります。

世界の人々がこの火の前で共に祈ることで、

人々の心に平和の光が灯ると私は思います。

「アース・キャラバン」は、国境も差別もなく、すべての人に

平和と幸福をもたらしたいという願いによって生まれたプロジェクトです。

私はこれが、世界中の人々の共通する願いであることを、まったく疑っていません。

だから私は、アースキャラバンとピースサイクル巡礼を、

同じ平和の願いを持つ心優しい多くの方々が支えてくださることを信じています。

日本の皆さん、もしどこかで私が必死に自転車をこいでいるのを見かけたら、

ぜひ手を振って元気づけて下さい。きっとそのとき、私の足は痛いでしょうから…。

平和と自由と幸せをみんなに！！

2015年1月末日

スーザン・エディ